

議事概要

1 会議名	令和5年度第1回太宰府市歴史的風致維持向上協議会
2 開催日時	令和6年3月27日(水) 10:00~11:30
3 開催場所	太宰府市役所 4階大会議室
4 出席者名	森委員、赤松委員、森井委員、八尋委員、鈴木委員、島田委員、中山委員、柴田委員
5 議題	<p>【議事】</p> <p>①令和5年度太宰府市歴史的風致維持向上計画第2期計画の進捗評価</p> <p>②令和6年度太宰府市歴史的風致維持向上計画事業予定について</p>
6 内容	
	(開会)
	【議事①-1】 令和5年度太宰府市歴史的風致維持向上計画第2期計画の進捗評価
事務局	※事務局より内容説明
委員	歴史的風致形成建造物保存修理事業の修理内容を教えてほしい。
事務局	小野家店舗では、屋根裏の土を撤去し屋根瓦を取替えた。松尾家店舗では、外観は大きく変更はないが、下屋庇取替えと耐震補強等を実施した。甘木屋では、建築当初にあった2~3階部分の雨戸の復元及び光明寺に向かう道路沿いの空調室外機1台の修景を実施した。光明寺本堂では、屋根全体の屋根瓦と屋根下地の傷んだ部分の修理を実施した。
委員	建物の呼び名は、どのようにして決めているのか。屋号が出てくるものと出てこないものの違いはなにか。
事務局	基本的には、歴史的風致維持向上計画(第2期)の歴史的風致形成建造物の指定名称に合わせている。甘木屋は正式には、甘木屋(高田家住宅)である。指定したときに

	住宅が中心となっているか店舗が中心となっているかどうかで決めているようだ。
委員	朱雀大路修景整備事業について、福岡県が既に一部を施工済みであるが、どこまで延長する予定であるか。また、一般の方がわかるような仕組みは考えているか。
事務局	榎社の南側から西鉄二日市駅側に向けて歩道部分の施工を延長する予定。福岡県で施工する範囲の北側の起点は、筑陽学園南側付近までであり、そこまでが朱雀大路の県道と重なっている部分となる。なお、榎社北側から筑陽学園南側までの施工は、今後福岡県にて進めていく予定。また、すでに説明板が事業地南端付近にあるが、これは朱雀大路周辺の説明であり、残地を利用して、解説広場をつくり、そこで色分けがどのような意味を表すかなど解説板を設置する予定。
委員	朱雀大路修景整備事業について、歩道部分だけ修景しても、一般的な方が全体的な広さをイメージすることは難しいのではないか。小鳥居小路についても、両端を緑色に着色しているが、見えにくくわざわざする必要があったのかと感じている。
事務局	この事業では、車道部分は通常のアスファルト舗装で、歩道部分のみを朱雀大路が顕在化するようにするという事になっており、茶色部分が朱雀大路の道路部分を現し、真ん中が側溝部分を現し、ネズミ色部分が道路の外の道路に面する宅地部分を現している。事業をはじめの際に、ちょうど県道沿いに朱雀大路が重なっていることが発端で、客館跡からの回遊性向上も期待できることから、安全面やバリアフリーを配慮の上できる限りの表現として行っているものである。小鳥居小路についても、同様に、通学路の一部であることから、安全上現状のような仕様としている。
委員	道路交通法など安全上できないことが多いのであれば、無理して行う必要はないのではないかという意見である。
事務局	賛否両論あるかと思うが、榎社付近の交差点が開けていて、朱雀大路当時の大きさが視覚的にもわかる環境になったということもこの事業の大きなポイントである。史跡整備ではないものの、太宰府市では歴史的な道路が現在も使用されている道路が多く、歴史を伝える意味でも重要と考えている。
委員	朱雀大路修景整備事業は、福岡県が実施するのか。
事務局	榎社南側から西鉄二日市駅側は市が実施し、榎社北側から筑陽学園南側は福岡県が実施する。
委員	朱雀大路の真ん中に樹木が 1 本あるが、当時の朱雀大路を顕在化するのであれば、当時樹木はないはずなので植えない方がよいのではないか。朱雀大路の中には地上構造物はなくしていくというのが計画の方針ではないのかと思うし、色も車道部と歩道部

	で変える必要があるのかと疑問に思う。その計画の変更が可能かどうか確認したい。
事務局	真ん中の樹木は現在ある樹木のこと、今回の工事で撤去する予定である。色に関しては、すでに施工している部分と齟齬がでてしまうため計画の変更は難しい。街灯など道路機能上必要な構造物は残すが、必要でない地上構造物は撤去していきたいと思う。
委員	色変えだけではなく、朱雀大路の境目にプレートなどをはめ込んだり段差を付けるなどした方が、効果があるのではないかと。また、全部ではなくても一部分でも車道部に色をつけるとよいと思う。
事務局	わかりやすくするため朱雀大路の名称プレートなどで明示するのも良いかもしれない。車道部分など施工していない部分については県などと協議しながら検討する。
会長	光明寺本堂の屋根工事では重要な発見などはあったのか。
委員	光明寺本堂を調査させていただいたので私から説明する。光明寺本堂は、妻飾りに板幕股があって、その裏にある安政 3 年の墨書が建築年次と推測していたのであるが、今回の調査により、鬼瓦の中に書き物があって、そこに安政 3 年という覚書きのようなものが発見され、改めて安政 3 年に建築されたものと判断できるようになり、幕末の方丈建築として、この建物の価値が上がったのではないかと。と思う。
委員	歴史の散歩道環境整備事業についてだが、観光関係の方に文様塼をモチーフにしたものが埋め込まれて良いという話を聞いた。例えば何mごとに設置しているとかあれば目印にもなるし、解説員の方々にも解説ポイントの目印として利用すれば解説しやすいという意見を聞いた。今後どのようにしていくのか方針があれば教えてほしい。
事務局	ポイントは文様塼のことと思うが、50m間隔で埋め込まれている。全長 4.4 kmあるが、今後どうするかについては、現時点では決まっていないので、今後文化財課や利用される方、この協議会や維持管理担当課などと協議しながら検討していく。
委員	先日テレビの NHK で太宰府市が映っていたが、太宰府天満宮に関係するものばかりだったが、観世音寺や戒壇院など他にも素敵な場所がもっとあるのにと感じた。最近では史跡地にベンチも置かれてよくなった。観世音寺にある茶室は、昔からあるが誰の持ち物なのか。きれいにすると景観もよくなるのではないかと。
事務局	茶室は天智院のことと思うが、観世音寺の所有のものになるので、現在市でどうするという予定はない。ただし、最近宝蔵が国の登録文化財に登録されたように、今後、同様にこの建物が重要な価値のある建物であり、歴史的風致形成建造物になれば、この保存修理事業で助成金を出すことは可能である。

委員	歴史の散歩道環境整備事業について、観世音寺地区に飲食店を増やしていきたい、活性化していきたいと考えているが、実際に地域の方に話を聞くとマナーの面で観光客が活発に動かれると迷惑という話もある。市には、住民の意見も聞いていただき、観光客のマナー改善も含めて、整備してほしいと思う。
事務局	様々な意見があることは承知しているし、簡単には進まないことも認識している。この協議会でも議論していきたいと思うので、今後もよろしくお願いします。
	<p>【議事①-2】令和5年度太宰府市歴史的風致維持向上計画第2期計画の進捗評価</p> <p>※事務局より内容説明</p>
会長	月山について、これから災害の時期が来ると思うが、ブルーシートのままとするのは景観的な面と安全上どうなのか。また、月山で今後発掘の予定はあるのか。
事務局	昨年度の7月の集中豪雨にて法面が崩壊した状況である。災害復旧は、現在崩壊した土砂の除去など仮復旧が完了し、本復旧に向けて設計を文化庁と協議中であり、次年度以降工事に着手していきたいと考えている。ブルーシートは仮の状態であるが、これ以上崩壊が進まないようにしているものである。本復旧は令和6年度中には終了予定。また、福岡県により復旧に伴う発掘調査は完了済みである。
委員	今回の災害について福岡県では、道路や民家など早急に対応が必要なところから復旧していき、それ以外のものについては、令和6年度以降に実施するという事になっている。
委員	日本遺産事業について、シリアル型で広範囲に広がっているが、中心は太宰府市と考えている。大宰府関連史跡、史跡宝満山のサイン整備事業について、福岡県として日本遺産のサイン整備にも力を入れてほしいと考えている。
事務局	今回整備したサインは、日本遺産である。
会長	観世音寺前の県道部分で樹木の根上がりが目立つように感じるが改修の予定はあるか。
事務局	県道になるので、市としては、バリアフリーの観点からも福岡県に要望している状況である。

委員	【議事②】 令和 6 年度太宰府市歴史的風致維持向上計画事業予定について
事務局	※事務局より内容説明
委員	大宰府関連史跡、史跡宝満山のサイン整備事業について、宝満山のサインは山麓部分に設置予定か。宝満山の整備基本計画がないなかで設置を進めるべきかと思うので、宝満山の整備基本計画を急いで策定していただきたい。
事務局	現在、竈門神社前のバス停付近で検討中である。竈門神社の周辺に人が多いので、見てもらうために、そのフロント部分で置けないかと協議している。
委員	太宰府天満宮参道環境改善事業について、部分的な補修だと補修箇所がわかるので、補修した箇所がわからないように検討してほしい。
事務局	太宰府天満宮参道については、太宰府の顔でもあるので、多くの人に関心があり様々な意見がある。今回の施工は部分補修ではないので、補修箇所がなくなると思うが、改修方法は設計の中で検討していく。
委員	太宰府天満宮参道の並木は、樹木の根上がりなど維持管理を考えるといかがなものかと思う。歴史的にもクロガネモチは存在しないし、樹木を植えるのであれば桜の馬場と言われていたくらいであるから桜かと思う。ただ、現実的に桜は落ち葉が散るから参道には向いていない。
事務局	議会答弁もあったように、並木についてどうにかしないといけないという認識はある。クロガネモチは、平成初めの植栽時には排気ガスに耐性があるとして選択しているようだ。ただし、観光客数など平成初期とは大きく異なるなど参道の状況も変わってきているので、今後の樹木をどのようにするかについては、設計のなかで検討する。
	(閉会挨拶)